

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	愛名やまゆり園
指定管理者	社会福祉法人かながわ共同会
指定期間	H18. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	障害サービス課 ( )

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

県の求める質の施設福祉サービスの提供に努力し、県央地域の拠点施設として、研修や地域サービス実施についても積極的に行っている。スプリンクラー工事完了から、スムーズに寮の再開を行うなど、良好な管理運営状況である。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月10日	○	×	○	有	月列入退所状況5/29開始、訂正5/25、5/22（数式訂正）
5月	6月8日	6月8日	○	×	×	無	
6月	7月9日	7月9日	○	×	×	無	
7月	8月9日	8月9日	○	×	×	無	
8月	9月7日	9月7日	○	×	×	無	
9月	10月9日	10月9日	○	×	×	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	重度重複障害者支援の特色ある施設運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思を確認することが難しい重度重複障害者の要望を、日ごろの表情や状況を丁寧に観察することで把握し、個別支援計画に反映させるよう努めている。</li> <li>・利用者の人権を尊重した支援を行うため、職員の意識向上のための取組み（月毎の人権目標の設定、支援の振り返りを行うための人権チェックシートの実施（下期に取り組む予定）等）を行うと共に、人権研修へも職員を派遣した。</li> <li>・重度障害者の地域生活移行への取組みを継続して行っている。</li> <li>・生活環境プロジェクトを立ち上げ、利用者の生活の質を上げるための課題の検討を行っている。（3回会議開催）</li> </ul>

	提案内容	実施状況
2	<p>加齢に伴い一般の人に比較して早期にかつ急激に進む身体機能、精神機能及び生活機能の低下に対する予防と介助量の増大に対して、より安心、安全な生活を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢に伴い医療的ケアが必要な利用者への支援を今年度新たにスタートした制度に基づき実施した。（利用者7名、支援員18名認定終了）</li> <li>・利用者の身体的機能低下を予防するため、昨年度に引き続き理学療法士による専門的アプローチを受け、支援レベルの向上に努めている。</li> </ul>
3	<p>行動障害の著しい重度知的障害者に対して、安定的なプログラムを提供して、当該行動の軽減を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動障害者への支援技術の向上のための研修へ職員を派遣すると共に、園内研修を行う予定。</li> <li>・利用者の居住空間を整備するため、女性寮の居室改修を実施した。</li> </ul>
4	<p>障害の重い入所者の地域生活移行への取り組みと、在宅障害者支援のバックアップ施設として、待ちの姿勢ではなく地域に積極的に進出する相談活動を行い、地域支援機能の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアホームでの体験利用の受け入れを実施し、地域生活移行のためにどのような支援が必要か探っている。（延べ11人、55日利用）</li> <li>・在宅障害支援としての短期入所利用者を積極的に受け入れた。（前年同期対比増減率+15%）</li> <li>・「厚木市・愛川町・清川村自立支援協議会」において中心的な役割を担い、障害保健福祉圏域の自立支援協議会のとりまとめとしての役割を担った。</li> <li>・臨床心理士、ケースワーカー等専門職員がチームで近隣事業所等へ訪問相談を実施した。（4月～9月 60回実施）</li> <li>・在宅障害当事者、家族対象に「日頃の健康管理について」というテーマで看護師に研修を実施し、「分かりやすかった。」と好評だった。</li> </ul>
5		

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	—	—	—	—	—
予算額	前年度	391,882	520,342	132,370	1,044,594	1,044,594	0
	上半期	211,174	256,434	18,473	486,081	486,081	0
	下半期	180,708	263,908	113,897	558,513	558,513	0
	今年度	425,204	540,058	23,758	989,020	989,020	0
	上半期	211,000	270,029	11,879	492,908	492,908	0
	下半期	214,204	270,029	11,879	496,112	496,112	0
上半期実績額	4月	29,476	47,851	2,739	80,066	58,309	21,757
	5月	29,476	51,147	6,126	86,749	71,504	15,245
	6月	63,620	47,935	2,076	113,631	114,812	▲ 1,181
	7月	29,476	50,635	3,211	83,322	56,934	26,388
	8月	29,476	50,114	2,139	81,729	62,250	19,479
	9月	29,476	47,885	2,139	79,500	63,450	16,050
	今年度 上半期合計	211,000	295,567	18,430	524,997	427,259	97,738
	前年度 上半期合計	211,174	261,266	21,498	493,938	392,288	101,650
	対前年度上半期比				6.3%	8.9%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	収入増については、スプリンクラー工事終了に伴い他施設へ移動した利用者数が戻ったことにより、増加した。また、支出については、後期に利用者支援のための機器の更新を予定しているため予算執行残がある。そのため収支差額が1割以上ある。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：一円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

## 5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	94 人	93 人	1.1 %
5月	94 人	88 人	6.8 %
6月	94 人	88 人	6.8 %
7月	94 人	88 人	6.8 %
8月	93 人	87 人	6.9 %
9月	93 人	86 人	8.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	564 人	562 人	530 人	▲ 0.4 %	6.1 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	8月に1名利用者が亡くなった。
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	1		0	0	0	1
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

**8 事故や不祥事等の発生状況**

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

**9 随時モニタリングの実施状況**

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

**10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリンクラー工事が無事終了し、閉鎖していた1寮も利用者の受け入れを再開した。厚木精華園に移動していた利用者も戻ってきたが、大きな変化も見られず安定した生活を送っている。</li> <li>・利用者の高齢化に伴い、医療的ケアが必要な方が増えてきている。職員への研修を行い、県へも申請し、制度に基づいての支援を実施している。大きなヒヤリハットもなく、利用者の状態も安定している。今後も利用者が増えることが考えられるので、迅速に対応していきたい。また、緊急に受け入れが必要な利用者が医療的ケアが必要な場合は、対応が難しい。ある程度の指針を示していただきたい。</li> <li>・在宅障害者支援である短期入所事業のニーズが多く、昨年度より利用率は上がっている。個室対応が必要な利用者が多く、その希望に応えるための利用調整が厳しい状況が続いている。</li> <li>・今年度家族による虐待により緊急に受け入れが必要な利用者を2名受け入れた。2名とも受け入れに必要な情報が殆どない状況だったため、受け入れてからの支援が難しかった。10月に障害者虐待防止法が施行され、緊急に受け入れが必要な利用者が増加することが想定される。それまでの生活の状況等情報をどのように得るか、市町村や相談支援事業所との連携も含めて検討していきたい。</li> <li>・障害保健福祉圏域の自立支援協議会のとりまとめとしての役割を担い、地域の拠点施設としての役割も果たした。</li> </ul>
--